

令和7年第4回定例会 一般質問一覧

日 時 令和7年12月3日（水曜日）午前9時30分～（質問順1番から2番まで）
場 所 新宮町役場 3階 議事堂

順	議員名	質問事項	質問要旨	答弁者
1	大牟田 直人	不登校児童生徒への相談体制と多様な学びの保障を	<p>全国で不登校の子どもたちは年々増加しており、その背景には、家庭や学校での人間関係、発達特性、心身の不調、社会的な不安など、複雑で多様な要因が絡んでいる。</p> <p>不登校の子どもたちが安心して自分らしく学び、成長できる環境を整えることは、町の教育の根幹に関わる重要な課題である。子どもや保護者が気軽に相談できる体制の強化とともに、多様な学びの場を保障する必要があると感じる。</p> <p>本町における不登校支援の現状と今後の方向性について伺う。</p> <p>1 本町における不登校児童・生徒の現状と、保護者や子どもが気軽に相談できる体制づくりの現状および今後の方針は。</p> <p>2 多様な学びを保障するためには、オンラインでの授業出席できる体制を整える必要があると考えるが、町の現状は。</p> <p>3 多様な学びを保障するため「学びの多様化学校」を開校している自治体がある。多様な学びの場を保障するためには、学びの多様化学校の開校やまつかぜルームの充実が必要と考えるが見解を伺う。</p>	町 長 教育長
		小学校区を単位とした地域コミュニティづくりを	<p>町では各行政区、消防団、小中学校の学校運営協議会、育成会や各ボランティア団体などの取り組みにより協働のまちづくりが行われていると感じる。一方、行政区による活動は世帯数、世代構成、予算規模の違いもあることから、内容に差がみられる。</p> <p>活動によっては校区単位で協力して実施することにより、効率的で活性化するものもあると思う。近隣においても多くの自治体で校区コミュニティづくりが行われている。</p> <p>町でも小学校区を単位とした地域コミュニティづくりができないか。</p>	町 長 教育長
2	片岡 誠治	豪雨災害の検証と実効性ある防災対策の構築について	<p>本年8月9日からの集中豪雨により、本町では床上・床下浸水、道路冠水など深刻な被害が発生した。特にアクア新宮の水没やJR新宮中央駅のエレベーター・エスカレーターの浸水故障は、多くの町民の日常生活に大きな支障を來した。</p> <p>近年、全国各地で豪雨災害が頻発しており、気象庁の統計データでも、「1時間に50ミリ以上の雨」の最近10年間（2014～2023年）の平均年間発生回数が以前の約1.5倍に増加している。本町でも「もはや想定外では済まされない」という認識のもと、抜本的な対策が必要と考える。</p> <p>災害対策基本法は、町に「住民の生命と財産を守る」責務を課している。今回の被害を検証し、二度と同じ被害を繰り返さないことが行政の使命である。</p> <p>そこで、住民の安全・安心を第一に考え、次の2点を伺う。</p> <p>1 アクア新宮やJR新宮中央駅の浸水原因を検証し、その結果を踏まえた改善策は。また、住宅地の浸水対策として、雨水貯留施設の整備や排水路の改修などの具体的な対策を検討しているか伺う。</p> <p>2 避難情報の発令タイミングや要配慮者への支援体制など、今回の災害対応は適切であったか検証結果について伺う。また、消防団、自主防災組織、行政が連携した災害対応体制は有効に機能したか。今回の災害対応全体を通じて明らかになった課題と、今後の連携体制強化に向けた方針を示されたい。</p>	町 長